

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 12 日作成)

小委員会名	耐用年数設定小委員会	主 査 名：本橋健司 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (耐久保全運営委員会)	委員長名：本橋健司 主 査 名：井上照郷
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>1) 建築物の耐久設計に関する一連の ISO 規格 (ISO15686 シリーズ) が発効してきている状況下で、日本での規格化を支援。</p> <p>2) ISO 規格に基づいてファクターメソッドによる耐久設計ができる技術的基盤の醸成。</p> <p>3) ファクターメソッドによる耐用年数設定に必要なリファレンス・サービスライフのデータ収集と分析。</p> <p>2011 年度：ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフに関する技術データの収集のための調査および ISO15686 シリーズを中心とした国際規格の動向に関する情報収集</p> <p>2012 年度：ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフに関する技術データの収集のための調査の継続および ISO15686 シリーズを中心とした国際規格の動向に関する情報収集の継続</p> <p>2013 年度：ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフに関する技術データの収集のための調査の継続および ISO15686 シリーズを中心とした国際規格の動向に関する情報収集の継続</p> <p>ファクターメソッドを中心とした耐久設計に関する技術指針の骨子検討</p> <p>2014 年度：ファクターメソッドを中心とした耐久設計に関する技術指針の作成および講習会の実施</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 本橋健司 (芝浦工業大学)、楡木 堯 (ベターリビング)、鹿毛忠継 (建築研究所)、濱崎仁 (建築研究所)、古賀純子 (建築研究所)、興石直幸 (早稲田大学)、今本啓一 (東京理科大学)、兼松 学 (東京理科大学)、大澤 悟 (竹中工務店)、井上照郷 (日本建築仕上材工業会)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2011 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフに関する技術データの収集のため、リファレンスサービスライフ設定小委員会で実施した外装仕上げ材の劣化実態調査を継続して実施した。</p> <p>2. 建築業協会等で収集している外装仕上げ材の耐用年数に関する資料の分析を行った。</p> <p>3. ISO15686 シリーズを中心とした国際規格の動向に関する情報収集を行った。</p> <p>以上のように、当初予定していた活動計画に沿った活動が行われた。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	